

Ⅷ-3. 調査方法と調査結果

(1) 調査方法

1) 調査の設計

本事例の特性を踏まえ、調査方法について以下のように設計した。

自動車道は、現地での事前調査の結果より散歩やジョギング等といった地元住民の日常的な利用が多く見られることが確認され、これを踏まえ、アンケート調査対象者は、地元住民を対象とすることとした。対象範囲は、前記した散歩やジョギング等の利用に注目し、自動車道から1km以内の徒歩圏内とした。なお、自動車道周辺は、セキュリティの厳重なマンションの立地や、企業等が事業所として利用する場合もあるため、これらを除く配布可能な一般住居を対象とした。調査票の配布方法は、ポスティングとした。

次にヒアリング調査対象について、事業主体関係者は、当時の担当者を中心にヒアリングを実施した。利用団体は、事前にWEBでの検索により自動車道を利用する団体を調べ、ホームページ等より連絡先等を入手し、調査協力を依頼した。対象建築物等所有者は、隣接する横浜ワールドポーターズの管理会社を対象とした。

定点観測調査については、出来るだけ多くの利用実態を捉えるため、平日と休日の両日調査を行った。

表 調査手法と調査内容

調査手法	対象	手法	調査内容	
アンケート調査	整備対象位置周辺の地元住民	自動車道から1km以内（徒歩圏内）の配布可能な2,500世帯 ※回収結果： 422/2,500通 （回収率17%）	ポスティング	○意識変化 ○活動変化
	整備対象の位置する市町村の地域住民	既存アンケート調査（「横浜市景観ビジョン」平成18年3月）参考	—	○意識変化
	現地来訪者（観光客を含む）	—	—	—
ヒアリング調査	事業主体（行政）関係者	①横浜市環境創造局環境整備部（当時港湾局担当） ②横浜市都市整備局都市デザイン室 ③横浜市中区総務部区政推進課	訪問ヒアリング	○意識変化 ○活動変化 ○空間変化 ○その他
	利用団体	横浜シティガイド協会	訪問ヒアリング	○意識変化 ○活動変化
	対象建築物等所有者	(株)横浜インポートマート	訪問ヒアリング	○意識変化 ○空間変化
定点観測調査	平日、休日	—	○活動変化	

2) アンケート調査票 (地域住民用)

■調査対象地

本調査で対象としている「汽車道」とは、下図の⑥に示す2つの島とそれを結ぶ3つの橋で構成されるプロムナードを指します。

■問8の整備済み施設

地図中の番号は、問8にあげた整備済み施設の位置を示しています。

■問9、問10の地図への記入例

問9、問10の散歩やジョギング・ウォーキングのコースの記入は、下図に示した通り、実線と点線など、各問に対して違いがわかるようにご記入ください。



現在の汽車道についてお伺いします

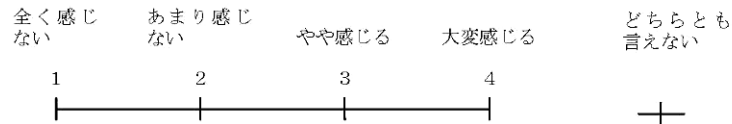
問1 「汽車道」を知っていますか？

- 1 知っている。行ったこともある。
- 2 知っているが、行ったことがない。
- 3 知らない。(この調査で知った)

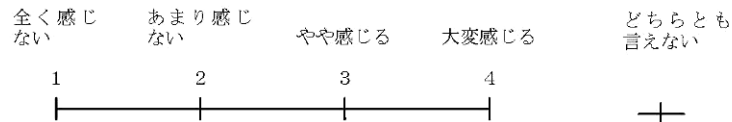
問2 現在の「汽車道」をどのように思いますか？



問3 「汽車道」に対して、親しみ・愛着(大切に思う、守っていききたいなど)を感じますか？



問4 「汽車道」に対して、誇り(自慢できる、人に紹介できるなど)を感じますか？



問5

「汽車道」の印象などについての質問です。

1～8の問いについて、該当する箇所に○を書いてください。

1. 鉄橋やレールなどから、臨港鉄道で利用されていた頃からの歴史を感じる	全く 思わない 1	あまり 思わない 2	やや 思う 3	非常に 思う 4	どちらとも 言えない
2. 周りを水に囲まれ開放感がある	全く 思わない 1	あまり 思わない 2	やや 思う 3	非常に 思う 4	どちらとも 言えない
3. 歩きやすい	全く 思わない 1	あまり 思わない 2	やや 思う 3	非常に 思う 4	どちらとも 言えない
4. 周囲の眺めがいい	全く 思わない 1	あまり 思わない 2	やや 思う 3	非常に 思う 4	どちらとも 言えない
5. 夜景の眺めがいい	全く 思わない 1	あまり 思わない 2	やや 思う 3	非常に 思う 4	どちらとも 言えない
6. 水辺が近く緑地や樹木の緑があり自然を感じる	全く 思わない 1	あまり 思わない 2	やや 思う 3	非常に 思う 4	どちらとも 言えない
7. 周囲の雰囲気とあっている	全く 思わない 1	あまり 思わない 2	やや 思う 3	非常に 思う 4	どちらとも 言えない
8. 赤レンガ倉庫など連続する施設とのつながりがある	全く 思わない 1	あまり 思わない 2	やや 思う 3	非常に 思う 4	どちらとも 言えない

その他に現在の「汽車道」の印象について、何か感じることを、思っていることがありましたら、自由にお書きください。

問6 「汽道」を利用する際の目的と利用頻度について該当する項目に「○」をつけてください。

1. 散歩もかねた通り道として利用	ほぼ毎日 1 週 2~3 回 程度 2 月 2~3 回 程度 3 年数回 程度 4 ほとんどなし	<input type="checkbox"/>
2. 散歩・ジョギング・ウォーキングで利用	ほぼ毎日 1 週 2~3 回 程度 2 月 2~3 回 程度 3 年数回 程度 4 ほとんどなし	<input type="checkbox"/>
3. ベンチで休憩や芝生広場でのんびりと過ごす	ほぼ毎日 1 週 2~3 回 程度 2 月 2~3 回 程度 3 年数回 程度 4 ほとんどなし	<input type="checkbox"/>
4. 芝生広場で遊ぶ	ほぼ毎日 1 週 2~3 回 程度 2 月 2~3 回 程度 3 年数回 程度 4 ほとんどなし	<input type="checkbox"/>
5. 写真撮影やスケッチ	ほぼ毎日 1 週 2~3 回 程度 2 月 2~3 回 程度 3 年数回 程度 4 ほとんどなし	<input type="checkbox"/>
6. 夕夜景の鑑賞	ほぼ毎日 1 週 2~3 回 程度 2 月 2~3 回 程度 3 年数回 程度 4 ほとんどなし	<input type="checkbox"/>
7. イベントへの参加・観賞	ほぼ毎日 1 週 2~3 回 程度 2 月 2~3 回 程度 3 年数回 程度 4 ほとんどなし	<input type="checkbox"/>
イベントをご存知でしたら、教えてください。 (イベント名 : _____、 開催場所 : _____、 開催時期 : _____)		

上記以外にも、利用方法がありましたら、ご自由にお書きください。

汽車道の整備前と整備後（現在）についてお伺いします

問7

「汽車道」は、もともと臨港鉄道として使われていた跡地を、1997年にプロムナードとして再整備したものです。「汽車道」の整備前（1997年より以前の臨港鉄道休止後）を知っていますか？

- ① 知っている
- ② 知らない

問8

問7で「①知っている」と回答した方にお聞きします。

みなとみらい地区の施設整備は、ランドマークタワーのある中央地区から始まり、だんだんと範囲を広げ整備が進み、現在のみなとみらい地区を形づくってきました。

みなとみらい地区の整備の段階を4段階に分け、それぞれの時期における景観に対する評価を得点で示してください。（施設位置は2頁を参照）

ランドマークタワーが整備された1993年ころを第一段階とし、当時を50点として、その後の整備段階について相対的に評価してください。なお、第四段階が100点にならなくても構いません。

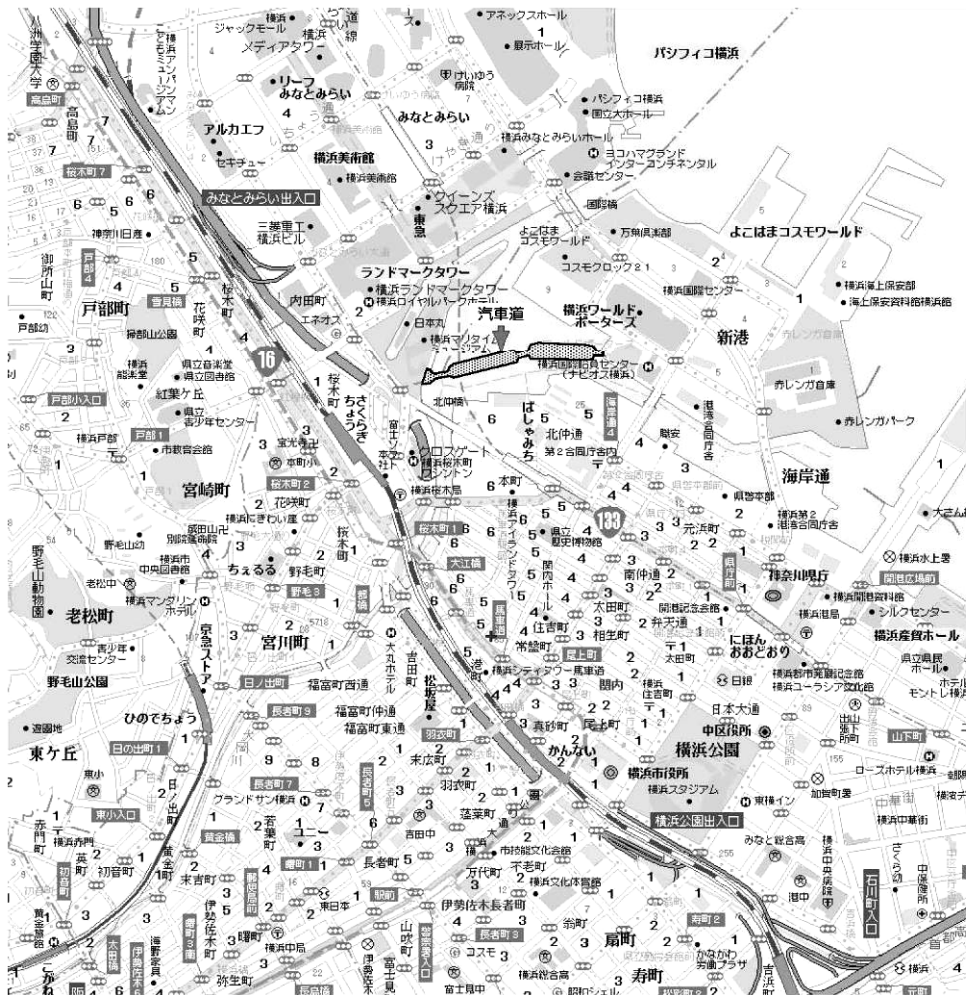
整備段階	整備済み施設	得点
第一段階： 汽車道のオープン前 1993年～1996年	①ランドマークタワー、②ドックヤードガーデン、③横浜マリタイムミュージアム、④横浜美術館 等	50点 /100点
第二段階： 汽車道のオープン後 1997年～2001年	⑤汽車道、⑥横浜ワールドポーターズ、⑦ナビオス横浜、⑧クィーンズスクエア横浜、 等	___点 /100点
第三段階： 赤レンガ倉庫オープン後 2002年～2003年	⑨赤レンガ倉庫・パーク、⑩山下臨港線プロムナード、⑪桜木町駅前歩行者広場 等	___点 /100点
第四段階： 「開港の道」オープン後 2004年～	⑫開港の道（桜木町駅から港の見える丘公園までの歩行者専用ルート）等	___点 /100点

問9

散歩やジョギング・ウォーキングを行っている方は、主に利用するコースを下図にご記入ください。(2頁目を参考に、実線でご記入ください。)

問10

汽車道が整備される以前から、散歩やジョギング・ウォーキングを行っていた方は、当時、主に利用していたコースを下図にご記入ください。(2頁目を参考に、問8と違いがわかるようにご記入ください。)



問11 その他「自動車道」に対する感想をご自由にお書き下さい。

問12 お答えいただいた方についてお聞きします。（該当するものに○をつけて下さい。）

1. 性別 ①男性 ②女性

2. 年齢 ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上

3. 居住年数 （現在のお宅にお住まいの年数）
 ① 3年未満 ② 3年以上～5年未満 ③ 5年以上～10年未満
 ④ 10年以上

4. お住まい （町名をお答えください。） _____ 区 _____ 町

ご協力ありがとうございました。

(2) 調査結果

1) 調査結果概要

事例名称	事業分野・施設	所在都道府県	事業主体	事業特性		
XⅢ 自動車	港湾	神奈川県	横浜市	1997年竣工、新規整備、地域住民以外の利用あり		
調査結果概要						
現地での調査		対象	手法	捉えられた効果		
利用者	利用者へのアンケート調査	横浜市中区、西区在住の自動車道より半径1km圏内の住民(2500世帯) ※回収結果：422/2,500通(回収率17%)	ポスティング	○開放感がある ○周囲をよく眺められる ○休憩しやすくなった ○歩きやすい ○水辺が近く自然を感じる ○みなとまち横浜らしさを感じる	○通勤・通学路、散歩・ジョギング・ウォーキングなどの利用の創出 ○ベンチ等を利用した休憩場所としての利用 ○芝生広場でのピクニック、子供との遊び場 ○写真撮影やスケッチの利用 ○イベントへの参加 ○回遊経路の延長	空間変化
	利用団体へのヒアリング調査	横浜シティガイド協会	訪問ヒアリング	○みなとまち横浜らしさを感じる ○地域資源に対する愛着 ○歴史資源に対する誇り	○回遊経路の延長 ○ボランティアガイドや歴史巡りのコースとしての利用の創出	
	定点観測調査	平日・土日	新港地区側第3橋梁付近		○通勤・通学路、散歩・ジョギング・ウォーキングなどの利用の創出 ○ベンチ等を利用した休憩場所としての利用 ○芝生広場でのピクニック、子供との遊び場 ○写真撮影やスケッチの利用	
施設周辺	現地調査(調査対象建築物・施設の抽出)		現地調査		○ナビオス横浜の赤レンガ倉庫へ抜ける通景空間の設置	
	対象建築物等所有者等へのヒアリング調査	(株)横浜インボトマツ 松本氏	訪問ヒアリング		○クリスマス時のキャンドルイルミネーション	
行政	行政担当者へのヒアリング	①横浜市環境創造局環境整備部 ②横浜市都市整備局都市デザイン室 ③横浜市中区総務部市政推進課	訪問ヒアリング	○みなとみらい地区全体としての景観形成に対する意識	○来訪者(観光客、地元住民)の利用の創出 ○ナビオス横浜の赤レンガ倉庫へ抜ける通景空間の設置	
項目		具体例				
意識変化	機能評価	・車が通らず歩きやすいとの評価 ・赤レンガ倉庫など連続する施設とのつながりがある→赤レンガ倉庫や横浜ワールドポーターズに行く時に利用する人が多い ・周囲を水域に囲まれる360度のパノラマで、みなとみらいを眺める視点場として良いとの評価				
	造形・空間の印象評価	・自動車道全体の評価として大変良い、良いとの評価 ・水域に囲まれ開放感があるとの評価、周囲の眺めがよいとの評価、夜景の眺めがよいとの評価 ・周囲の雰囲気と合っている、緑地や緑があり自然を感じる				
	親しみ・愛着 誇り	・親しみ、愛着を大変感じる、感じるとの評価 ・誇り思うと大変感じる、感じるとの評価 ・地域にとって誇れる場所である、観光客や友人にお勧めしたい場所である、等				
利用者行動に与える効果	利用形態・頻度等の変化	・主な利用は、新港地区の商業施設(横浜ワールドポーターズ、赤レンガ倉庫)等への通り道としてであった ・通勤・通学路、散歩・ジョギング・ウォーキングなど日常的な利用が多くみられた ・夕夜景の鑑賞、写真撮影やスケッチなど景色を楽しむような利用が多くみられた ・芝生広場やベンチでの休憩や芝生広場で遊ぶなど滞在型の利用も見られた				
	商業活動の活性化	-				
	地域活動の活性化	・花火大会の見物場所としての利用や、クリスマス時のキャンドルイルミネーションの会場としての利用が見られた ・ボランティアガイドや歴史巡りのコースとしての利用が見られた				
	環境保全、学習活動	・ボランティアガイドによる横浜新港地区の歴史の学習 ・自動車道整備に関する都市デザイン室からの講義の開催				
	施設を核とした避難体制の構築	-				
	近隣住民同士の会話の場	-				
	利用ルールの形成	-				
	樹木の手入れ・花壇等の設置	-				
	清掃等の維持管理活動	-				
	与え設る周辺効果の空間に	商業活動の変化	-			
建物ファサード変化	-					
軒先空間の変化	-					
周辺景観の改善	-					
周辺施設の連帯性の向上	・ナビオス横浜の赤レンガ倉庫へ抜ける通景空間の設置 ・横浜ワールドポーターズの入口の設置 ・「開港の道」の設定					
視点場の形成	-					
その他	散歩道としての回遊性の向上	・自動車道整備前後で周辺で散歩をしている人のうち、7割以上の方が整備後自動車道を利用するようになった ・散歩で自動車道を通る人のうち、多くが赤レンガ倉庫を通ったり、みなとみらい中央地区を通ったり回遊経路を散歩している				
	周辺と連携した拠点の形成(地域の魅力向上)	・景観に対する評価として、自動車道整備の前後で得点化したところ、自動車道整備による得点の上昇が最も大きい結果となる				
	外部評価(専門機関からの表彰)	・土木学会デザイン賞受賞				
	メディアへの掲載	・自動車道から撮影したみなとみらい地区の写真が多数WEBに掲載されている				

調査範囲等

定点観測地点

アンケート配布範囲:
 自動車道の半径1km圏内 横浜市中区・西区2500世帯(住居施設を中心に配布可能な施設のみ、みなとみらい等のマン)

▲芝生広場での休憩、みなとみらいを眺める

▲橋から水上を航行する船を眺める

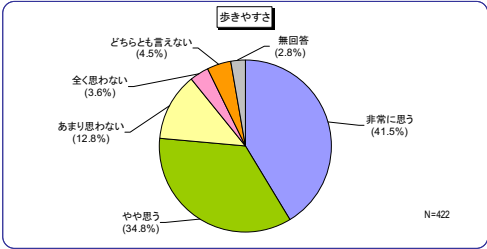
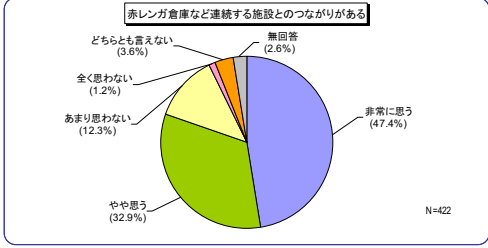
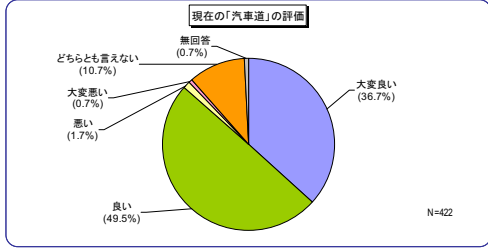
▲石積み護岸に座り万国橋をスケッチす

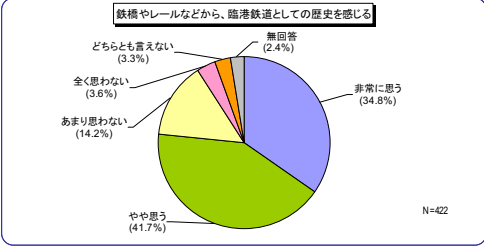
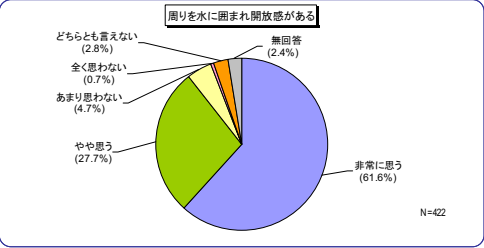
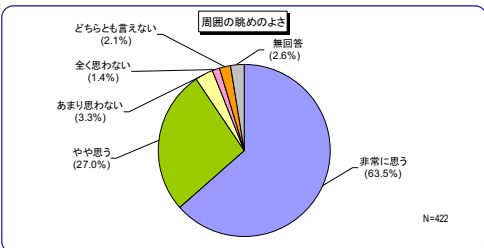
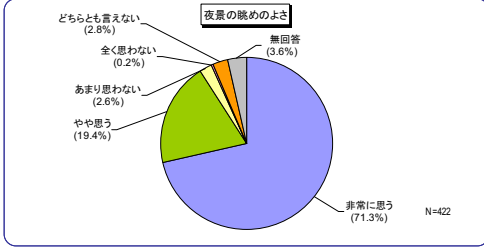
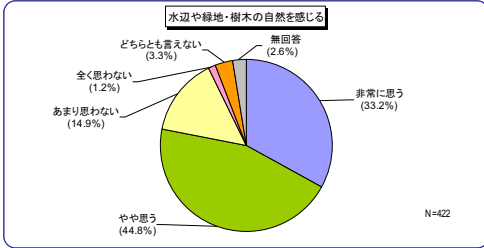
▲写真愛好家に好まれる撮影スポット

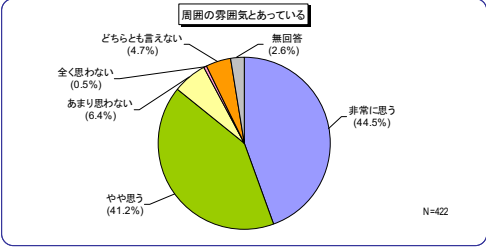
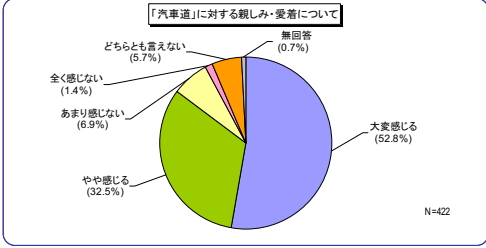
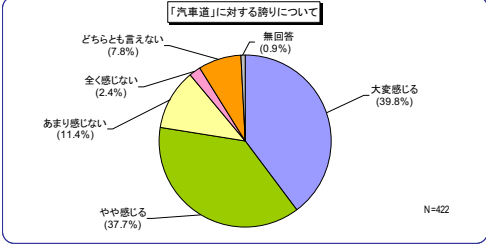
▲水際部のベンチから対岸を眺める

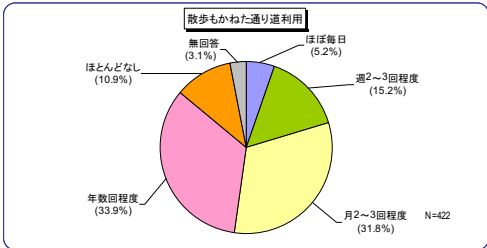
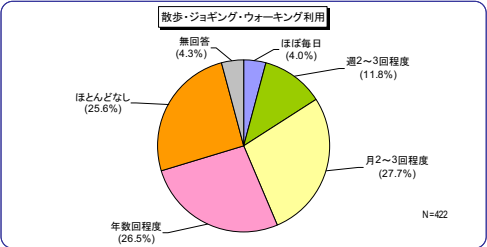
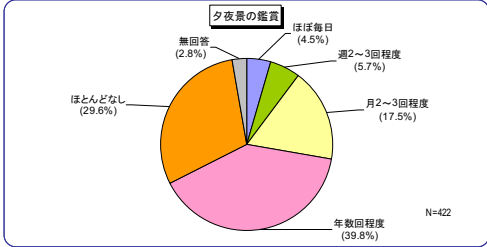
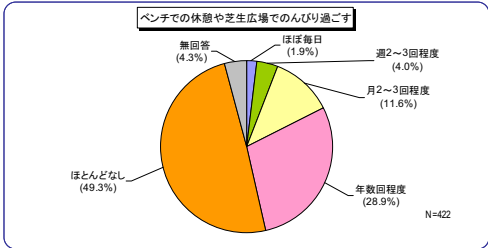
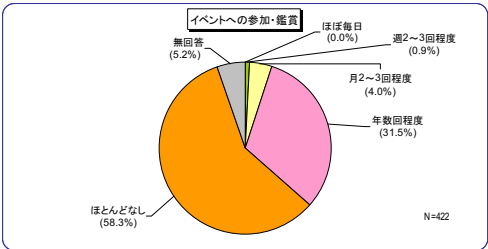
2) 調査結果の整理

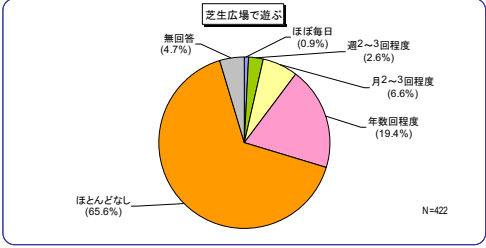
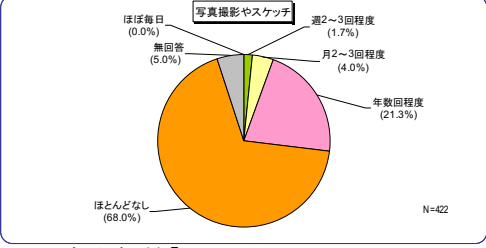


調査結果の詳細は以下の通り。

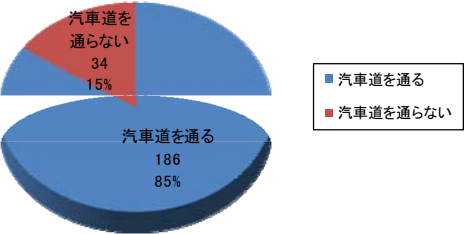
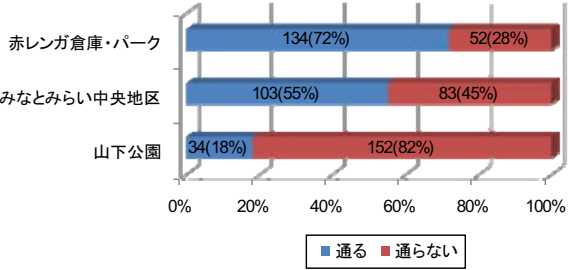
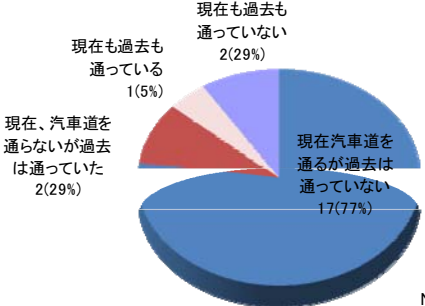
	景観整備による効果メニュー	調査結果	結果を得た調査
意識変化	①機能評価	<p>・「歩きやすい」(76%)</p>  <p>→理由として、「車が通らない」が最も多い。一方で、「現在通行禁止になっている自転車通行を可能にしてほしい」という意見も見られた。</p> <p>→一方で、「歩きにくい」とする意見もあり、その理由のほとんどは、「ボードウォークの溝にヒールが挟まる」であった。</p> <p>・「赤レンガ倉庫など連続する施設とのつながりがある」(80%)</p>  <p>【アンケートの自由解答、ヒアリングの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周囲を水域に囲まれるため、みなとみらい中央地区を眺める良好な視点場として評価。周囲の景観を見て癒されるとの回答もみられた。 ・横浜ワールドポーターズへ買い物や映画を見に行く時や赤レンガ倉庫に行く時に通るという人が多数みられた。理由は、近道であること、眺めがいいこと、安全であることなどがあがっている。 	アンケート自由解答 (N=422) ヒアリング
	②施設・空間の印象評価	<p>・「汽公道の全体の評価：大変良い、良い」(87%)</p> 	アンケート (N=422)


景観整備による効果メニュー	調査結果	結果を得た調査
	<p>・「臨港鉄道の時代の歴史を感じる」(76%)</p>  <p>・「水に囲まれ開放感がある」(90%)</p>  <p>・「周囲の眺めがいい」(90%)</p>  <p>・「夜景の眺めがいい」(92%)</p>  <p>・「緑地や緑があり自然を感じる」(78%)</p> 	

景観整備による効果メニュー	調査結果	結果を得た調査
	<p>・「周囲の雰囲気と合っている」(86%)</p>  <p>【アンケートの自由解答、理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなとみらい中央地区側に横浜の今を、新港地区側に昔の横浜をと、両方の横浜が味わえる ・植栽や海の生物などの自然により季節を感じる ・悪い評価：自動車設置後に周辺の商業施設が設置した電飾が派手で雰囲気を壊している 	
③親しみ・愛着	<p>・親しみ、愛着を感じる：大変感じる、感じる (85%)</p> 	アンケート (N=422)
④誇り	<p>・誇りに思う：大変感じる、感じる (78%)</p>  <p>【アンケートの自由解答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域にとって誇れる大事な場所である。 ・観光客や友人などにお勧めしたい場所である。 ・横浜市の優れた都市デザインのひとつ。 	アンケート (N=422)

景観整備による効果メニュー	調査結果	結果を得た調査
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">利用者行動に与える変化</p> <p>① 利用形態・頻度等の変化</p>	<p>◆ 利用形態 (※新規整備のため、前後比較不可。利用の頻度について「ほとんどなし」以外の割合を集計) [半数以上の項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「散歩道も兼ねた通り道として」(86%)  <ul style="list-style-type: none"> ・「散歩、ジョギング、ウォーキング」(70%)  <ul style="list-style-type: none"> ・「夕夜景の鑑賞」(68%)  <p>[半数以下の項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ベンチや芝生広場での休憩」(46%)  <ul style="list-style-type: none"> ・「イベントへの参加・観賞」(37%) 	<p>アンケート (N=422)</p>

景観整備による効果メニュー	調査結果	結果を得た調査
①利用形態・頻度等の変化	<p>・「芝生広場で遊ぶ」(30%)</p>  <p>・「写真撮影やスケッチ」(27%)</p>  <p>【アンケート自由解答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春に芝生広場の桜の下で花見をする。 ・横浜開港祭の花火の見物場所としての利用 <p>◆利用頻度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用頻度で、「イベントへの参加・鑑賞」と「写真撮影やスケッチ」以外の利用については、ほぼ毎日利用するという人が見られた。 ・「散歩も兼ねた通り道として利用」は最も頻度が高く、半数以上の人が月2～3回以上利用している。 	
②商業活動の活性化	—	
③地域活動(イベント・行事)活性化	<p>・クリスマス時のキャンドルイルミネーション「キャンドルナイト」(12月23日～25日)の会場としての利用</p>  <p>(写真)キャンドルナイトの様子</p> <p>・横浜シティガイド協会によるボランティアガイドや歴史巡りのコースとしての利用</p>  <p>(※赤：整備前コース、青：整備後コース) (図)ボランティアガイドコースの変更前と変更後</p>	ヒアリング(横浜シティガイド協会、㈱横浜インポートマート)

景観整備による効果メニュー	調査結果	結果を得た調査
④環境保全・学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアガイドによる横浜新港地区の歴史の学習 ・汽船道整備に関する都市デザイン室からの講義の開催 	ヒアリング（ボランティアガイド協会）
⑤施設を核とした避難体制の構築	—	
⑥近隣住民同士の会話の場	—	
⑦利用ルール作成	—	
⑧樹木の手入れ・花壇等の設置	—	
⑨清掃等の維持管理活動	—	
⑩その他	<p>◇散歩時の回遊性の向上 →散歩をする人（220人）のうち、汽船道を通る人は186人（85%）</p>  <p>→散歩で汽船道を通るとした人（186人）のうち、コースの中で通る場所として、赤レンガ倉庫134人（72%）、みなとみらい中央地区103人（55%）、山下公園34人（18%）</p>  <p>→汽船道の整備前後で、散歩のコースの変化があった人（22人）のうち、「汽船道が整備される前は汽船道を通っていなかったが、整備後通るようになった」という人は17人（77%）と最も多かった。</p> 	<p>アンケート (N=220)</p> <p>アンケート (N=186)</p> <p>アンケート (N=22)</p>

景観整備による効果メニュー	調査結果	結果を得た調査
	<p>◇利用形態の多様化 →・水域を行き交う船を眺める利用 ・芝生広場でのピクニック ・写真愛好家による撮影大会 ・護岸に座ってスケッチや景色を眺める</p>   <p>(写真)行き交う船を眺める様子 (写真)ピクニックしている様子</p>   <p>(写真)写真愛好家による撮影大会 (写真)護岸に座ってスケッチする様子</p>	定観測
①商業活動の変化	—	
②建物ファサード変化	—	
③軒先空間の変化	—	
④周辺景観の改善	—	
施設周辺の空間に与える効果 ⑤周辺施設の連帯性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ナビオス横浜の赤レンガ倉庫へ抜ける通景空間の設置 ・横浜ワールドポーターズの入口の設置 ・「開港の道」の設定   <p>(写真)ナビオス横浜の通景空間 (写真)横浜ワールドポーターズの入口</p>	文献調査 ヒアリング：横浜市都市デザイン課
⑥視点場の形成	—	

景観整備による効果メニュー		調査結果	結果を得た調査							
その他	①外部評価	<ul style="list-style-type: none"> ・土木学会デザイン賞優秀賞受賞 ・マスコミ、メディアへの掲載多数 ・WEBにおける掲載サイト 39,000 件 上位 100 件のうち、有効サイト 38 件の紹介内容 	文献調査 WEB							
	②周辺と連携した拠点の形成（地域の魅力の向上）	<p>◇景観に対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車道がオープンする前（第一段階）を 50 点とし、最高 100 点とした場合、自動車道オープン後（第二段階）71 点、赤レンガ倉庫オープン後（第三段階）78 点、開港の道オープン後（第四段階）81 点という評価が得られた。自動車道オープン後に最も得点が上昇している（本設問有効回答 169 サンプルの平均値を算出）。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>第一段階 自動車道のオープン前</th> <th>第二段階 自動車道のオープン後</th> <th>第三段階 赤レンガ倉庫オープン後</th> <th>第四段階 開港の道オープン後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50</td> <td>71</td> <td>78</td> <td>81</td> </tr> </tbody> </table> <p>N=169</p>	第一段階 自動車道のオープン前	第二段階 自動車道のオープン後	第三段階 赤レンガ倉庫オープン後	第四段階 開港の道オープン後	50	71	78	81
第一段階 自動車道のオープン前	第二段階 自動車道のオープン後	第三段階 赤レンガ倉庫オープン後	第四段階 開港の道オープン後							
50	71	78	81							

3) 効果の波及フロー

■ 汽車道の景観整備による効果の波及フロー

